

ぼくの声

御津南部小・6 都築 暁

ぼくは声大きい

お母さんにうるさいと言われる

お父さんにはもつと言われる

家族みんな声が小さくて

ぼくだけが目立つ

お母さんにうるさいと言われるけど

この声は役に立つときもある

お店で店員さんを呼べば

すぐに気づいてもらえる

授業で話し合いをするとき

ぼくの見解は聞こえやすい

友達と遊んで帰るとき

遠くはなれていても

ぼくが呼べばすぐにもどってきてくれる

うるさいと言われるけど

この声は家族や友達に役に立つ

運動会するとき応援団長だつてやった
大きな声を出して全校を引っ張るのは
とっても気持ちがいい

いつもはうるさいと言われるけど

このときはほめられた

お母さんからも

おばあちゃんからも

いところからも

いつもはいいことあんまりなかったけど

このときは大きな声でよかったと思えた

自分がやりたいことをやって

みんなの役にも立てた

どんなにうるさいと言われても

ぼくはこの声で生まれてよかった

ぼくはこの声がけっこう好きだ